

カトリック

広島教区報

No. 96

カトリック
広島司教区

発行責任者
広報担当
服部大介神父

「点訳版」あります。
お問い合わせください。

広島市中区鞆町 4-42
広島司教区内
TEL (082) 221-6017

前田万葉司教メッセージ
叙階式関連
教区災害サポートセンター情報・施設
人事・訃報
地区・海峡からの風・JiCarM・ひと粒

一〇三面
四〇七面
八面
九面
十〇十二面

チャレンジ！福音宣教復活祭

カトリック広島司教区長 前田万葉司教

ご復活のお喜びを 申しあげます。

今年のご復活祭は、ヨハネ・パウロ二世の列聖はもちろん、わたしたちの教区では、何ととっても、猪口大記新司祭誕生の喜びと共にやってみりました。父なる神に心から感謝と賛美をささげたいと思います。

新司祭猪口の春

爛漫や

また、淳心会のウイフリデウス ガッラ (ウィル) 新助祭、教区のロイ朗読奉仕者の召命も大きなお恵みであります。(＊叙階式関連記事は、四面以降)そして、この慶事に花を添えるかのように、パウロ・ユン新神学生、久保裕己新神学生の二人が誕生いたしました。



左からロイ神学生、ウィル新助祭、前田司教、猪口新司祭、三末名誉司教

た。次から次に召命の芽が開いて来るような予感が致します。どうぞますますのお祈りとご協力をお願いいたします。

さて、今年も、わたしたちの主イエス・キリストのご復活祭に大きな期待を込めて、次のように新しい教区標語を発表し、解説したいと思います。

主のご復活おめでと〜うございませす

教区モテアートル	肥塚倭司 神父	槽灯センター	リカルド 神父	小野田老人ホームチャプレン	桜井彦孝神父
教区副モテアートル(会計)	原田豊己 神父	笠岡教会	朴 孝鎮 神父	山口島根地区信者養成担当	清水 弘 神父
教区本部事務局	服部大介 神父	倉敷地域共同司教司牧チーム	ミッシェル神父	岩徳フロック	岩徳フロック
平和の使徒推進本部	肥塚倭司 神父	倉敷・玉島・水島教会	山口道晴 神父	岩園教会	徳山教会
広島司教館	福田誠二 神父	(ごいたま教区出向)	野中 泉 神父	下松教会	光教会
		広島地区 (地区長)	バルト 神父	柳井教会	柳井教会
		広島地区 (地区長)	金 楡 神父	島根フロック	島根フロック
		鞆町・東広島・三篠・翠町・向原教会共同司教司牧チーム	ウイル 助祭	津和野教会	津和野教会
		教司牧チーム	トウアン 神父	益田教会	益田教会
		観音町教会	ワレ 神父	浜田教会	浜田教会
		祇園教会	関 亮一 神父	出雲教会	出雲教会
		呉教会	野番一夫 神父		
		廿日市教会	荻原代治 神父		
		三次教会	長束修道院		
		三原教会	山口・島根地区 (地区長)		
		尾道教会	山口フロック		
		福山教会	山口教会		
		松江教会	李 相源 神父		
		岡山・鳥取地区 (地区長)	李 相源 神父		
		岡山・岡山南教会	李 相源 神父		
			李 相源 神父		
			カンガス 神父		
			モレノ 神父		
			小崎次郎 神父		
			恩地 誠 神父		
			百瀬文晃 神父		
			リントホルスト神父		
			林 尚志 神父		
			片柳弘史 神父		
			三喜田虎太神父		
			池尻廣幸 神父		
			愛徳修道士会		
			ヘンテリクス修道士		
			牧田真一修道士		
			ホンテレー修道士		

平和の使徒となろう

チャレンジ

新しい福音宣教

くわたくしをお使いください

― 卒寿から百寿までにと

風光る―

わたしたち広島教区は、昨年(二〇一三年)、九十年を祝い、百周年に向かって、具体的な目標をたてました。平和をベースに、召命促進・青少年育成(教区予備神学校設立、教区共通教理書作成)、列福列聖(信仰高揚)です。そして、これらを実現するための十年間標語として、このたび、「チャレンジ 新しい福音宣教 くわたくしをお使いください」を決めました。

チャレンジ!

福音宣教復活祭

また、この十年を、次のような期間と標語でつなぎます。

- ①二〇一四年～一六年 家庭へのチャレンジ
- ②二〇一七年～一九年

教会へのチャレンジ

- ③二〇二〇年～二二年 社会へのチャレンジ
- ④二〇二三年

わたしの召命とあかし さて、新しい福音宣教とは、「カトリック信者でない人々への本来的宣教はもちろんのこと、新しく、カトリック信者への再宣教や社会の福音化を強化し、しかも、新しい熱意と、方法表現で宣教すること」だといえます。これは、特に教皇ヨハネ・パウロ二世から、ベネディクト十六世、現教皇のフランシスコへと受け継がれてきた呼び方であり、方針であります。

「新しく強化すること」と、「新しい熱意、方法表現」を、明治初期の殉教者たち、特に乙女峠の殉教者たちから学んでみましょう。

①新しく 殉教者たちは、信仰を密かに守り伝えていくことで一生懸命でしたが、新しい時代に新しく信じ生きようと、信仰を公表しました。わたしたちも今の時代に、それぞれの場で、隠すことなく勇気をもって

信仰表明いたしました。

②新しい熱意 殉教者たちの熱い心を今の時代に、それぞれの場で、新たに発揮いたしましょう。

③新しい方法 殉教者たちは、改心しない(キリストを捨てない)方法を取りました。わたしたちも、どのような場でも新しい方法(キリストを捨てないばかりか、積極的な方法)で宣教者となるようにいたしましょう。それぞれに合った賢明な方法を考えることが肝要です。

④新しい表現 殉教者たちは、殉教という表現であかししました。わたしたちは、現代的なキリストに従う者の生き様をもって表現いたしましょう。それぞれ置かれた場所、環境で、司祭は司祭として、修道者は修道者として、信徒は信徒として。また、現代人に分かりやすい言葉(表現)を使うことも大切にいたしましょう。

⑤具体的に たとえば、教区共通教理書なども、モリちゃんに初聖体を、裕次郎君に堅信を、安太郎さんに

結婚を学んで作成できると思います。(＊「津和野乙女峠の殉教者」参照)

家庭へとチャレンジの春あかしかな

まず、最初の三年を、家庭へとチャレンジしてみま

しょう。それぞれの置かれた家庭は違うでしょう。新しく、そして新しい熱意で、どのような方法、表現をもってあかししていくのか、自分の召命とあって、チャレンジしてみましょう。



叙階式の集合写真

* 「津和野乙女峠の殉教者」

モリちゃん、裕次郎君、安太郎さんの三人は津和野乙女峠で殉教しました。(一) モリちゃんは、五歳の少女でした。

牢の番人がモリちゃんに、「お腹がすいているだろう。おいしいお菓子があ

きるよ。イエスさまなんて大げらいだと言えればこれをあげるよ。」と話しかけ信仰を捨てよう勧めました。モリちゃんは、はつきりと「そんなことはできません。わたしはイエスさまが大好きです。わたしは天国へ行きたいの。天国のお菓子はもつとおいしいの。」



と答えました。

その後、飢えのため体が弱って、モリちゃんは天国に召されました。

(二) 十四歳の少年裕次郎は過酷な拷問と迫害に耐え忍んで最後まで信仰を守り抜きました。

裸にされ十字架につかれ、飢えと寒さと厳しい鞭打ちに耐えながら、「キリストを捨てろ。」と迫る役人に、「いや、決して捨てません。」と答えました。「とてもつらかったんだね。」と慰める姉のマツに話しました。

「最初はとてもつらかった。でも、八日目に一心に祈っていると、小さなすずめが屋根の上にいるのが見

えました。その小さなすずめも泣いていました。そのとき母鳥がやって来てえさを与えました。すずめでもわが子の世話をするのであれば、天の父がわたしの世話をしてくださらないわけがない。そうとわかってからは、わたしは泣きませんでした。」



裕次郎は、これから希望に満ちた人生が始まろうとする十四年の生涯を、潔く天の父にささげました。(三) 安太郎は、物静かでしたが、明るく心の広い三十歳の青年でした。厳寒の雪の中、三尺牢に入れられました。

津和野へ配流された浦上キリシタンのリーダー仙右衛門と甚三郎が安太郎の様子をうかがいにやってきて、「寂しくはないか。」と尋ねました。

安太郎は、「いいえ、ちつとも寂しくなんかありません。毎晩、真夜中ころに、貴婦人のような女性が現われて励ましてくださいます。青い服を身にまといまるで長崎の教会のサンタ・マリアさまのご像のような

お方です。しかし、このことはわたしが生きている間はだれにも話さないでください。」と答えました。仙右衛門と甚三郎が、「お前のお母さんにはなんと伝えればよいだろうか。」と言うと、安太郎は、「この三尺牢は十字架だと思いません。母に伝えてください。ここでイエスさまのため

に、またイエスさまとともに死ねるのはわたしにとってこの上ない幸せです。」と答えました。数日後、雪に埋もれた三尺牢の中で安太郎は息をひ

きとっていました。(「津和野の殉教者たち」文 ロバート・M・フリン 絵 ホアン・カトレット 参照)



2014 津和野の乙女峠まつり

5月2日(金) 19:00 前夜祭

座談会 「津和野にとって、日本にとって、殉教とは」
講師 森下博之 津和野町長 平林冬樹 神父 (イエズス会)
司会 ヴィタリ・ドメニコ神父 (幟町教会主任)
場所 津和野幼稚園のホール (津和野教会隣)

5月3日(土)

10:30 聖母行列 津和野教会~乙女峠
11:30 ゆるしの秘跡 (香部屋) 中村健三神父 (小聖堂) アルティリヨ・ホアン神父
12:00 野外ミサ 乙女峠
司式者: ヨハネ 諏訪榮治郎 高松教区司教
共同司式者: トマス・アクィナス 前田 万葉 司教

カトリック津和野教会

〒699-5605 島根県鹿足郡津和野町殿町 TEL 0856-72-0251

司祭叙階のお恵み 猪口大記新司祭誕生

三月二十一日(金・祝)十四時から世界平和記念聖堂に於いて、マキシミリアノ・マリア・コルベ 猪口大記助祭の司祭叙階式、ウィフリデウス・ガツラ神学生(淳心会)の助祭叙階式、ペトロ・ホアン・ドゥック・ロイ神学生(広島教区)の朗読奉仕者選任式が行われた。司祭叙階式は、昨年のヨハネ・グエン・クアン・トゥアン神父に続き二年連続となる。参列者は八百名を超え、前田司教の主司式により、三末名誉司教七十余名の司祭が共にミサを捧げた。



前田司教からの授けを受ける猪口新司祭



床に伏す、左から猪口新司祭、ウィル新助祭

神に感謝

マキシミリアノ・マリア・コルベ
猪口大記新司祭

三月二十一日に叙階の恵みをお授けいただきました。何よりもまず、慈しみ深い神様に感謝申し上げます。そして、今までいただいた皆様の日々のお祈りとご支援に感謝申し上げます。そして、どうかこれからも、お祈りとご指導を賜りますようお願い申し上げます。

皆様がこれをお読みになられている時、私は新司祭として初ミサを祝い、いくつかの教区行事に参加し、日々喜びの内にいただいた恵みを深く思い起こしながら、神様に賛美と感謝をささげているはずですが、しかし、この記事を書いている現在、まだ司祭に叙階されていないわけではなく、その時々の様であるかすら、実はまだおそろく何もわかっていないのです。

この様に申しますのも、幾人もの神父様方を見てまいりましたが、そのお姿からは喜びと共に苦悩も知ら

れるからです。司祭叙階というこの上ない恵みを受け取る事に向けて、期待に胸打ち震えておりますが、同時に果たして自分が本当に司祭職を全うできるのか、一抹の不安もあります。

しかし、これまで多くの方々に支えられてきたという事は揺ぎ無い事実です。勿論、神様に支えられる事がなければ、私など弱い者ですから、すぐにどこかに行ってしまうことでしょう。それをこの十年程の生活で思い知る事は幾度となくありました。ただ、神様からの支えは、周りの方々からの支援によっても与えられ、またそれによっても知られるものだと思います。まさに、皆様の働きの内に、神様の働きもあるのです。また反対に、自分が神によつて呼ばれているという思いを強くして、いつの間にか独り善がりにならないために、皆様との関わりの中に神様の御旨を知る事が大切だと感じています。この、今、現に頂いている支えを大切に、これからは歩んでいこうと思っ

おります。
さて、これまでの召命の道を振り返ると、実に多くの事がありました。

よく、「召命のきっかけは何か?」といった質問を受けるのですが、実は私にとつてとても難しい質問であつたりします。召命は神様の招きであり、自分を含めて誰かが作り出すものではないと思うからです。「どこで召命を感じたのか?」という質問であれば比較的語りやすいのですが、色々きっかけを考えてそれを述べる時、どれも少し違うような気がするから大変です。「日々の生活の中で」という漠然とした答えが一番いいのかとも思いますが、何か「これがきっかけになった出来事です」と言えれば、どうもその他の色々な出来事を勘案に入れていないようで、何か零れ落ちていくように感じます。
そもそも、出身教会にいた司祭に憧れて目指そうと思ったのですが、それは結局のところ、自分が教会に受け入れられ、多くの方々との関わりの中に、多

くの喜びを得ていたという事、その喜びを与える側になりたいという事に他なりません。因みに、私の出身教会の主任司祭は永らく修道会司祭でした。しかし、彼が日本で福音を告げるために働き、私はそこで喜びを受け司祭を目指そうと思ったのですから、やはり彼とは違って日本の、現に自分が今生きている場所で働きたいと望み、最終的に教区司祭を目指そうと思っただけです。

そういうえば、召命の事を主任司祭に申し出ようと考えていた時、その当の主任司祭が突然入院し、そのまま帰天されるという事がありました。そのため、私の事を直接知る司祭もあまりおらず、教区養成担当者に申し出る事も難しく、どこかの馬の骨か分からない様な者を神学生にする事などそうでもない事ですから、一年半程、面接や教区本部事務局での仕事、倉敷教会預かりなど、しばらく変則的な状況の中で過ごす事となりました。その他にも研修(休学)を二年しておりま

すので、比較的長い準備期間となりましたが、そこで得たものも多くあります。

しかし、おそらく、あらゆる神学生がそれぞれ異なる環境から出、その人生も多様で、皆それぞれに難難辛苦を味わい、私だけが例外というわけではありません。

そこでただ一つ、皆様にお伝えしたいのは、皆様のお励ましの重要性です。神学生ほど、いい年をして曖昧な状態で過ごすという事もないのではないかと思います。時に神学生が召命に関して悩んだり苦しんだりする時、残念なことです。いつの間にか「彼には召命がない」と思っていた「元々彼はこれこれの問題があった」等、多くの噂話が飛び交います。時に、それは聞いていて耳を塞ぎたくなる程のひどい中傷である場合も多々あります。皆様のご期待に沿わない神学生は、もはやその存在価値すらないかのようです。しかし、彼らも多くのものを捧げて、一步を踏み出しているのです。司祭に叙階され

た者だけが、人生を捧げているのではありません。本当に支えを必要としている神学生に、どうか励ましを与えてください。神学生がいけない、青年がいけないとお題目の様に聞こえますが、どうか不足を嘆くのではなく、現にいる人々に喜びを与えていただけたら幸いです。

では改めて、今まで皆様から頂いた多くのお祈りとご支援に感謝申しあげると共に、どうかこれからも後に続く人々のために、私に与えて下さったようにお祈りごと支援をよろしくお願い申しあげます。私も拙くも、皆様のためにお祈り申しあげます。

「威風堂々」―猪口神父
司祭叙階に寄せて―
東京教区習志野教会
大原猛神父

広島教区の皆さん、猪口大記神父様の叙階を心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。初めて猪口助祭に出会ったのは、

昨年二〇一三年の四月でした。猪口助祭は今年二月までの一年間、司牧実習のため練馬の神学院から一時間半の道程を苦にもせず千葉まで出かけてこられました。

彼に対する最初の印象は、「威風堂々」でした。猪口助祭はベテラン司祭の域にあるかのような貫禄を既に備えていました。人に接するときも説教の時も怖じることなく、あがることなく常に威風堂々としていたのが印象的でした。私は彼が決して尊大なのではなく、物怖じしない性格の持ち主なのだと思うようになりました。私は彼を鏡として、私が司祭になった若い日のことをしばしば思い起こしたものです。情けないくらい自信がなく、何事においても怖じたり、あがったりしていたように思います。本当に彼はたいしたものです。反面、貫禄があるということとは、新鮮さに欠けることになりかねません。



猪口新司祭、野寄神父

の日で、信徒の皆さんに挨拶する予定になっていました。しかし、生憎、前日から降り出した雪は二十年振りという大雪になりました。京成電鉄はとまり、道路も麻痺状態になり、午前中の二回のミサの参加者は十五名でした。通常日曜日のミサ参加者は数百人ですが、信徒に代わり大雪が猪口助祭の門出を祝福したように思いました。人に褒めそやされることなく、多くの人々から温かく送り出されなくとも宣教に旅立ったパウロたちのことを思い浮かべました。

猪口助祭は、第二ミサに参加した数人の信徒と黙々と雪かきに精を出していました。人と車一台が通れる

道をつくるために黙々と働
き汗を流す姿が象徴的でし
た。私は「威風堂々」とし
た姿より、この日の猪口助
祭に神様が祝福してくだ
さっているようでした。

猪口神父さん、威風堂々
で良いと思いますが、新鮮
で初々しくあつて欲しいと
自戒の念を込めながらお祝
いの言葉といたします。お
めでとう。

おめでとつ、

猪口新司祭——!!

広島教区 西江和司神父

司祭叙階のお恵みを頂い
たことを教区の皆様ととも
に喜びたいと思います。

まだ、何処の馬の骨とも
わからなかった彼が、広島
教区本部にやってきた頃の
思い出を少し書かせていた
だきます。

私が本部で仕事を始めた
頃に少し遅れる形で彼は来
ました。神学生候補者とい
うことで、翌年の神学校受
験まで本部で雇うことに
なつたと聞かされました。
毎朝パリっとした身なりで

出勤してくるので、規律が
厳しく求められる職場に勤
めていた人なのだろうなど
思いました。

その彼も、半年後には事
務職から解放（解雇？）さ
れて、神学校受験に備える
ことになりました。旧ラサー
ル館にこもつて何かの勉
強をしていたようですが、
ほつとも大丈夫な人でし
たので、傍観してしまし
た。当時は私も忙しくてそ
の様子を眺めているだけ
だったのですが、その間、
彼がどう生きていたのかよ
く知らないのです（私も養
成担当者なのですが・・・）。

野放しにされた飼犬のよ
うに毎日教会周辺を徘徊し
ていたのを覚えています。
その頃になると彼の風貌も
随分と様変わりし、徐々に
社会性を失つていった様子
が伺えました。（この変貌
ぶりは、とても参考になり
ました。）

持論ですが、司祭という
困難で特殊な召し出しに応
えようとされる者は、一度は
社会と隔絶した場に身を置
く必要があると確信してい
た私は、そんな彼を見て、

「いい具合に仕上がつてき
たぞ」と、内心嬉しく思つ
たものです。（注：聖職者
を志さない良い子は真似を
してはなりません。身の破
滅を招きます。）

受験に落ちることはない
と思つていましたので、彼
の合格は驚きませんでした
が、本人はとても喜んでい
ました。神学生になつてか
らは、彼と接触する機会も
減り、私も本部から離れる
と、その後のことはわから
なくなりました。養成担当
者としての役務も解かれ
て、時々耳にする彼の噂で、
なんとなくその様子がわか
る程度でした。それから数
年たつて・・・今日の日を
迎えます。

神学校に入ることよりも
司祭に叙階されることのほ
うが難しいとわかつていま
したので、無事に叙階され
たことを信徒の皆様と共に
喜びたいと思います。しか
し、司祭になつてからの方
が更に困難であることも
知つておいてください。脱
皮を繰り返しながら困難を
乗り越えていかねばならな
いこともあろうかと思いま

すが、叙階された以上はそ
の司祭職を全うしてくださ
い。

私から聖書の言葉を一つ
送らせて頂きます。

「わたしは逆らう者の角を
ことごとく折り、従う者
の角を高く上げる」（詩篇
七十五）

—— 良き司祭になつて
ください。……

猪口大記さんへ

東京教区習志野教会
森 真紀子さん

猪口さん（もう猪口神父
様ですね）、司祭叙階おめ
でとうございます。

猪口さんは昨年一年間、
私たちの習志野教会で司牧
実習して下さいました。習
志野教会は千葉県では比較
的東京に近いところにあり
ますが、神学院のある練馬
区関町は東京都の西側にあ
り、東京を横断する形で電
車を乗り継いで通つてくだ
さいましたね。多分二時間
近くかかっていたのではな
いでしょうか？

習志野では多くの方と、

いっぱいおしゃべりしてい
ましたね。私も沢山おしゃ
べりさせていただきまし
た。猪口さんの出身地鳥取
の教会のこと、神学院生活
のことなど。私が東京教区
一粒会運営委員をしている
関係で、東京教区の一粒子
への思いなども話して下さ
いました。皆さんご存じの
とおり、統合により東京カ
トリック神学院が、日本カ
トリック神学院となつて、
今回初めて広島教区の助祭
である猪口さんを迎えるこ
とになりました。司祭不足、
司祭の高齢化などが危惧さ
れている今、カトリック神
学院がある東京教区の信徒
は、出身教区の区別なく、
神様からの呼び掛けに応え
たすべての神学生を支えて
いこうと思ひました。これ
は東京教区の信徒にとつて
素晴らしいお恵みだと思ひ
ます。

猪口さんの司牧実習最終
日、東京（千葉県）は大雪
に見舞われ、交通機関が麻
痺し、雪道対策などしてい
ない車は動かせず、通常は
二百人くらい集まるミサに
預かれたのは十名程度だつ

たと聞いています。私も教会には行けずに、猪口さんにお別れを云うことができませんでした。とても残念です。習志野教会の皆が同じ思いを持っていると思いますので、東京に出てくる機会があればぜひ習志野教会に足を運んでください。信徒一同心からお待ちしています。

さて、無事叙階式を終えられたところですが、今後猪口さんはどんな神父様になるのでしょうか？これからは広島教区の皆様に支えられながら神父として成長していけることと思います。

広島教区の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。習志野教会信徒一同も猪口神父様のために、お祈りしていきたいと思えます。

猪口神父様、叙階おめでとございます

幟町教会 青年会

大谷 紗由里

神父様と初めて出会った

のは、私が高校生の頃でした。当時、神学生リーダーとして参加していた神父様を見て変な人だなあと思ったのが第一印象でした。そして、私が青年として活動し始め、色々とお関わりすることになった猪口神学生をますます変な人だと実感。「変な人」と一言で言っただけな人ではないけれども、とても面白い人であり、すごく色々な事を知っている人だということもわかりました。

そして、とにかく色々私たち青年や子どもたちと関わってくれるので、「聖職者」をとて身近に感じることができました。今まで私にとって、「神父様」はとても遠い存在でした。日曜日にミサを捧げること以外は何もしていないのかと思うほどでした。けれど、猪口神父様と関わり始めて「聖職者」を身近に感じ、猪口神父様を通して色々な人と出会い、典礼の基本的なことについても知ることができました。

そんな猪口神父様と出会って十年。やっと司祭になれることを本當にうれし

く思います。猪口神父様のこれからの活躍を、私たち、青年は心から祈っています。良い神父様になってください。本當におめでとうございます。

助祭叙階

ウイフリデウス・ガツラ (ウィル) 助祭
 淳心会 インドネシア出身

皆様、本當にお世話になりました。

二〇一四年三月二十一日に、私は、特別に神様の恵みをたくさん受けています。本當に言葉では言えないうぐらい幸せだと感じていました。こんなにたくさん恵みと幸せは皆様のおかげで神様から受けられたのだと思います。神様の恵みと皆様のお祈りと支えのおかげで、私は助祭叙階を感領しました。それを神様に感謝いたします。皆様にも感謝いたします。

今、私は宣教師としての第一歩を踏み出しました。これからの長い道を歩むためには皆様のお祈りと支え

が必要でです。私が神様の道具として皆様に奉仕することができそうです、どうぞお祈りください。

朗読奉仕者選任

神学科2年 ペトロ ホアン・ドウク・ロイ
 広島教区 ベトナム出身

花便りも伝わる今日このごろ、皆様にはますますご健勝の事と存じます。いつもお世話になり、お礼申し上げます。この度、三月二十一日に、私は広島教区のカテドラルにおいて多くの信徒、司祭の見守る中で、朗読奉仕者選任の恵みを頂戴しました。そして、感慨無量の喜びでございます。又、多くの皆様が司祭、助祭叙階式及び朗読奉仕者選任式に参加して下さったことを心より感謝しております。

私は慈しみ深い神の恵みの中で、前田万葉司教様、三末篤實名譽司教様をはじめ、養成担当の皆様、修道

会の皆様、多くの信徒の方々のお祈りとご支援に支えられて、今まで司祭職への召命の道を歩んで来たことに感謝申し上げます。司祭召命の道において、朗読奉仕者選任は第一歩です。これから、教会に仕える道を全身、全霊を尽くして歩むことができそうです。頑張りたいと思います。来年も、更にもう一歩、歩みを進めたいので、どうぞ、私のために祈ってください。

私の出身地はベトナムのバンメトト教区で、ホーチミン大司教区の司教に派遣され、日本に参りました。現在、広島教区の神学生として、日本カトリック神学院・福岡キャンパスで勉強しております。私はベトナムにある自分の家族と故郷を離れて、ずっと日本に住む所存です。皆様のお祈りと聖霊の助けによって、善い司祭になることを望んでいます。確かに、多くの方々のお祈りとお支えがあるからこそ、今日の私がいると思っております。今後ともよろしくお願い致します。

東日本大震災支援 大槌にボランティアに来て

防府教会 森島 和(高三)

春休みを利用して、新しくなった大槌ベースに行ってきました。参加者は中高生八名を中心に引率の柴田神父、山口天使幼稚園の先生三人でした。ベースが移転したのは、復興まちづくり事業で町の中心部の二メートルかさ上げの為です。

初日は、学童保育で昨春出会った子たちと再会できました。パラシュートなどの工作と白玉フルーツポンチ作りに分されました。殆どの子ども達は、とても楽しんでくれましたが、ぐずり出す子もいて寂しさを抱えているようでした。午後、小一〜六年生までの「子どもセンター」に手伝いに行きました。同じように外であまり遊べていないようで、落とし穴にはまると大喜びしていました。そこには二人の高校生が来ていました。コラボ・スクールと言って自主的に「大槌町に

何か出来る事はないか？」と考えて「子ども達に」「お年寄りに」と

それぞれにボランティアをしていました。同じ高校生で有りながら、勉強・部活に忙しい時間の合間を縫って奉仕して素晴らしいと思いました。

二日目は、仮設住宅の集会所に伺いお茶っこ(餃子づくり・八つ橋づくり)をしました。あるおじいちゃんは、「仮設の生活を続けるのは嫌だが、新しく家を建てるには高台。でも、自分は今この歳だから坂の上り下りがつらい。だから、新しく家を建てる事が出来ない。」と漏らしていました。去年と比べ工事は



郵便振替 口座番号：01310-0-16760 加入者名：宗教学法人カトリック広島司教区 通信欄には「サポートセンター」とご記入ください。

広島司教区災害サポートセンター収支報告 (2011年4月1日～2014年3月31日現在)

収入	献金	15,536,666
支出	事務運営費	
	振込手数料	29,070
	事務費	2,290
	旅費交通費	1,226,598
	支援費(派遣者の経費を含む)	
	経費	1,075,000
	送料	647,950
	物資購入	37,900
	「地ノ森いこいの家」支援	1,000,000
	支出の部合計	4,018,808
繰越		11,517,858

進んではいるけど、次々と新しい問題が出てきているので対応が必要だと思いましたが。

広島教区の施設 (21)

学校法人信望愛学園
法人事務局

「もりの家」が山口県山口市、サビエル記念聖堂の敷地内にあるのを皆様はご存知でしょうか？

緑に囲まれた聖堂のそばですから、誰もが「森の家」だと思われるでしょう。

しかし、「もりの家」は津和野乙女峠の殉教者の一人、五歳の少女「もりちゃん」に由来し、この建物の二階に、もりちゃんのような幼稚園児約一五〇〇名を受け入れる学校法人信望愛学園・島根信望愛学園

の事務局があります。

信望愛学園は、一九六八年、山口県光市に信望愛学園第二光幼稚園(現マリア幼稚園)として設立されました。現在は、山口県内の十三幼稚園からなります。また、島根信望愛学園は、一九八五年に設立され、島根県内の三幼稚園からなります。現在、信望愛・島根信望愛学園の理事長を原田豊己神父がされています。

両学園の教育理念には、「両学園に集う一人ひとりが、神からのちをいただく者として、信仰・希望・愛のうちに、より一層成長していくことを念願としています」とあります。

幼稚園では、遠足やマリア祭、運動会やクリスマス会といった四季折々の行事を通して文化に触れ、子ども達は成長します。同時に保育者が大切にしていることは、日々の生活の中で自然に「思いやり・やさしさ・たすけあい」が生まれるよう、成長の手助けをすることです。年少児がさらに小さい二歳児を誘導する姿、給食の前には、東日本大震災の後、交流し続けている福島県内の子ども達のために祈りをする姿。そうした幼稚園や世界を一つの家族としてとらえ、心を一つにする子ども達の姿は保育者や保護者の



もりの家

心に風を吹き込みます。

「天国の味の方がおいしい」と言ったもりちゃん。幼稚園の役割はさまざまに変化を求められる難しい時代ですが、彼女の瞳にも、園庭で元氣よく走る子ども達の瞳にも、信仰と希望と愛があふれる世界が映っていてほしいと願っています。そんな子ども達の声が今日も十六幼稚園に響き渡ります。

【山口県】

- 岩国市…岩国聖母幼稚園
- 光市…光天使幼稚園
- 下松市…下松暁の星幼稚園
- 周南市…周南小さき花幼稚園
- 防府市…暁の星幼稚園
- 山口市…山口天使幼稚園
- 宇部市…西宇部小百合幼稚園
- 山陽小野田市…

- 小野田小百合幼稚園
- 高千帆小百合幼稚園
- 下関市…下関天使幼稚園
- 海の星幼稚園

【島根県】

- 益田市…益田天使幼稚園
- 浜田市…夕日ヶ丘聖母幼稚園
- 松江市…松江暁の星幼稚園

広島教区 司祭人事異動

(新任地) ↑ (前任地)

《イエズス会》

アルテリヨ神父

長府教会主任 ↑ 光・柳井

加藤信也神父

祇園教会主任 ↑ 山口

バラ神父

祇園教会助任 ↑ 徳山

ヴィタリ神父

幟町・東広島・三篠・

翠町・向原教会共同宣

教司牧チーム モデラ

トール・幟町教会主任

↑ 益田・津和野

李相源神父

山口教会主任

山根敏身神父

益田・津和野教会主任

↑ 祇園

ヴェーマイヤー神父

広島長束修道院 ↑ 大船

共同体

葉袋勝士修道士

津和野教会 ↑ 福岡修道院

清水弘神父

宇部教会 ↑ 山口

片柳弘史神父

宇部・高千帆・北若山

教会主任 ↑ 六甲

柴田潔神父

教区外 ↑ 山口

アルカラ神父

教区外 ↑ 長府

オチヨア神父

教区外 ↑ 祇園

柳田敏洋神父

教区外 ↑ 幟町修道院

アレックス神父

教区外 ↑ 宇部

ファン神学生

教区外 ↑ 細江・中間期

豊田尚臣神父

幟町・東広島・三篠・翠

町・向原共同宣教司牧

チームミサ協力 ↑ 幟町

協力

猪口大記神父

幟町・東広島・三篠・翠

町・向原共同宣教司牧

チーム協力

肥塚倅司神父

幟町・東広島・三篠・翠

町・向原共同宣教司牧

チーム協力 (三篠教会

担当) ↑ 呉

金起磐神父

呉教会主任 ↑ 玉野

荻喜代治神父

米子教会主任 ↑ 岡山

西江和司神父

岡山・岡山南教会主任

↑ 米子

金楹洙神父

倉敷地域共同宣教チ

ーム (水島教会担当) ↑

語学研修

トウアン神父

玉野教会主任 (岡山南

教会協力) ↑ 幟町

後藤正史神父

光・柳井教会主任 ↑ 幟町

原田豊己神父

下松教会主任 ↑ 廿日市

朴孝鎮神父

語学研修 (岡山教会居

住) ↑ 釜山教区

大西勇史助祭

幟町・東広島・三篠・翠

町・向原共同宣教司牧

チーム協力 ↑ 東京教区

から出向

《淳心会》

ブレース神父

廿日市教会主任 ↑ 教区外

バルト神父

倉敷地域共同宣教チ

ーム (玉島教会担当) ↑

倉敷地域共同宣教

ジエロム神父

サバティカル

教区外 ↑ 青少年委員会

専従

ウイル助祭

倉敷教会居住



ラモン・デ・ヴァルス 神父 (イエズス会) 帰天

ラモン・デ・ヴァルス神父様は、2月28日、多臓器不全のため、広島野村病院で帰天されました。享年82歳。イエズス会生活65年、司祭生活の大半を広島司教区で活躍されました。

1931年3月5日、スペイン、バルセロナ生まれ。1948年10月2日スペイン、サラゴザにてイエズス会入会。1957年1月24日、来日。1963年3月18日、東京にて司祭叙階。1966年2月6日、宇部教会にて最終誓願。1965年から2003年まで広島司教区の宇部、長府、徳山、萩、細江、祇園、三原教会の主任として司牧。2003年から2009年まで京都教区チームミニストリー(彦根)。2009年から広島長束修道院で司牧。2014年2月28日、帰天。

司祭・修道者のダイ ヤモンド・金・銀祝

◆ダイヤモンド祝60周年◆

《援助マリア修道会》

福山修道院

シスター 大木敦子

一九五四年三月二十五日入会

《ナミュール》

ノートルダム修道女会

東広島修道院

シスター 國政都美子

一九五四年二月五日入会

◆金祝50周年◆

《広島司教区》

松江教会

深堀升治神父

一九六四年三月二十日叙階

《援助マリア修道会》

福山修道院

シスター 上田ニシエ

一九六四年七月二日入会

シスター 永嶋行子

一九六四年七月二日入会

《ナミュール》

ノートルダム修道女会

東広島修道院

シスター 佐藤良子

一九六四年四月三日入会

◆銀祝25周年◆

《ミラノ外国宣教会》

幟町教会チーム

ベッラ・アルベルト神父

一九八九年六月十日叙階

地区便り

広島地区

第三十一回広島キリシタン殉教祈念祭開催

『十字きる己斐の河原や建国日』(前田司教・殉教碑前にて)

広島キリシタン殉教祈念祭が二月十一日(火・祝)開催されました。

「キリシタン殉教之碑」前での祈りの集いから始まり、前田司教がお話をされ、皆で歌を歌い、祈り、観音町教会まで約二十分間の徒歩巡礼を行いました。

十時より観音町教会聖堂で、殉教者祈念ミサが前田司教、司祭六名、助祭一名、信徒約百二十名で行われました。

ミサ後の講話は服部大介神父(尾道教会主任・当時平和の使徒推進本部長)が担当され、平和の使徒推進本部で進めている二つの事、①広島教区に関する聖人、福者の紹介パンフレットを子どもにも分かるように絵入りの冊子にまとめる企画を進めていること、②

昨年教区創立九〇周年を迎え、これから百周年に向かって、教区の年間テーマについて話されました。

＊列聖記念行事「ヨハネ二十三世とヨハネ・パウロ二世を語ろう」

四月二十七日、二人の教皇、ヨハネ二十三世とヨハネ・パウロ二世が列聖されます。二人の教皇の列聖を祝い、記念ミサと語る会が行われます。

場所：世界平和記念聖堂 日時：四月二十九日(火・祝) 十三時～十四時

「列聖記念ミサ」

司式：三末名誉司教

十四時～十六時

「ヨハネ二十三世と聖ヨハネ・パウロ二世を語ろう」

講師：三末名誉司教

肥塚倅司神父

★写真展も行います。

岡山・鳥取地区

二〇一四年度の第一回岡山鳥取地区宣教司牧評議会が、五月十一日(日)津山教会で行われる予定です。

養成推進チームはきょうどう推進チームと一緒に

「初聖体テキスト」作りをしています。初聖体テキスト作成委員会を立ち上げ、進めています。

教会学校リーダー養成講座は、これまで二回行いました。

信徒養成講座が五月十七日(土)から六回開催されます。二〇一四年度の会場は、岡山教会です。テーマは「秘跡の中で神学と出会う」です。担当司祭のバルト神父(倉敷教会)は、講座案内のメッセージの中で、「信仰の恵みを与えて

下さる神に感謝しながら、私たちの信仰の命を生み、成長させ、いやす秘跡について考え、話し合う必要があるのではないでしょう

か。講師の神父様方の素晴らしい講話を、大勢の信徒の皆さんが受けられますように、各講座への参加を期待しています。」と言われています。

聖体授与の臨時奉仕者、集司式者だけでなくどなたでも参加できます

が事前申し込みが必要です。問い合わせは、岡山教会まで。(岡山鳥取地区事務局 北川弘子)

海峡からの風 32

下関労働教育センターだより

三月二十一日、広島教区猪口大記新司祭誕生の叙階式参加の恵みに与ることが出来ました。「あなたの息を送ってください。すべてが新たに成るように」の現実、神さまからの息吹きの中に共にいさせて頂きました。交わりである教会の司祭、社会・世界に向き合う司祭。しかも広島教区の司祭。

上がったままです。先ず諦めない対話・既得権の再分配の継続に生きましよう。教会が二十一世紀の目標と選んだ、①飢餓の撲滅②基本医療の普及③基礎教育の浸透。その為に戦争をしない・環境を破壊しない・子どもの人権を守る(ヨハネ・パウロ二世)を再確認します。そして、この人類の現代の潮流の中にいることも。

「ヒロシマ・ナガサキ」からの日本・世界への「ひかり・ことば・みち」を受けて、より豊かな「いのち」神の国への人生を、生き貫く出発の毅然としたすがすがしさに感動しました。そして謙虚な勇氣と希望のほほえみをもって、世界平和記念聖堂の祭壇からの道「信望愛」を踏みしめて派遣される「フクシマの現代」を見つめました。「異邦人と王たちの前に私の名を伝える」(使徒言行録九章十五節)洗礼によって共有する教会の預言職が湧き

狭い海峡を抜けなければならぬ人類。狭いからこそ厳しい逆風も吹きます。しかし「信望愛」の追い風「海峡の風」が、世界平和記念聖堂から派遣の風として行くべき道へ送り出してくれています。これが広島教区の風だと思えます。(林尚志)

がすがしさに感動しました。そして謙虚な勇氣と希望のほほえみをもって、世界平和記念聖堂の祭壇からの道「信望愛」を踏みしめて派遣される「フクシマの現代」を見つめました。「異邦人と王たちの前に私の名を伝える」(使徒言行録九章十五節)洗礼によって共有する教会の預言職が湧き

狭い海峡を抜けなければならぬ人類。狭いからこそ厳しい逆風も吹きます。しかし「信望愛」の追い風「海峡の風」が、世界平和記念聖堂から派遣の風として行くべき道へ送り出してくれています。これが広島教区の風だと思えます。(林尚志)

山口・島根地区

＊司祭修道者研修会



二月十一日(火・祝)に山口天使幼稚園において、平林神父(イエズス会)を講師に、「司祭修道者研修会」が行われた。

＊二〇一四年度信者養成

・信徒の神学

百瀬神父指導の「信徒の神学」は、できるだけ多くの人に学んでいただくため、二〇一四年度からブロック単位の開催を計画。今年度は徳山教会を会場に全六回。第一回目は、五月十七日。

・祈りの体験

九月に宗像での集中講座を計画していたが、会場の都合で十二月二十日(土)二十三(火)に変更。

＊地区少年の集い
・乙女峠巡礼

五月二日(金)～三日(土)にかけ、徳佐から津和野までの夜間巡礼が行われる。

・親の集い

地区(山口)で開催していた「親の集い」を今年度は各ブロックで開催することになった。

＊信徒協理人会

四月六日(日)に山口カトリックセンターで地区の信徒協理人会が開催され、五月十八日(日)の定例会準備として、「信徒協理会研修会」や決算・予算、その他二〇一四年度の計画について話し合われる。

伯雲ブロック

＊伯雲ブロック協議会

第三回伯雲ブロック協議会が二月二十三日(日)松江教会で開催された。

三月の行事、来年度の行事予定の確認と予算決算について協議された。

次回は四月下旬に出雲教会で開催予定。

＊グレゴリオ深堀升治神父様金祝記念ミサ及び祝賀会
三月十六日(日)午後二

時からグレゴリオ深堀升治神父様の金祝記念ミサが前田万葉司教様司式のもと八人の神父様をお迎えして行われ、修道者や深堀神父様の御親族、各小教区からも多くの信徒の皆様など三百名を超える方々が記念ミサにあずかりました。



金祝記念ミサ集合写真

午後三時半からは会場を幼稚園ホールに移し、喜寿と金祝を迎えられた深堀神父様の祝賀会が盛大に執り行われました。

－ 感謝 －

香典返し

前田司教様のご母堂、故前田キヨ子様葬儀のお花料のお返しとして、広島教区一粒会へ献金をいただきました。お礼とご報告を申し上げます。

広島教区一粒会

JICAaRM全国研修会を振り返って

岡山教会ユニティー岡山・鳥取 中村 浩一

昨年十月、仙台でのJICA aRM全国研修会に参加し、二日目の朝、元寺小路教会をバスで出発して東日本大震災の被災地である気仙沼、陸前高田、大船渡を見学しました。現地では事務所や屋台小屋の多くに仮設ハウスが利用され、特に屋台小屋はカリタスジャパンのシールが貼付けられていて改めてカトリック教会のネットワークの広さを実感しましたが、総じて復興には程遠い状況と思われました。特に陸前高田では、やわらかな秋の日差しの中で草原がはるかかなたにまで広がり、静かな初秋の風にそのざわめきが聞こえるだけの風景のなかで、ここで市民が平和に生活していたことを考えると、これだけの大きな犠牲は一体何のために払われたものだったのか、考えずにはいられませんでした。



聞かせてもらいましたが、彼女らがどのようにこの困難を乗り越えたかを一言でまとめると、神様が私たちにお命じになった『お互いに愛すること』そのものを実践したことにあると思います。言葉の障害、日本の習慣、ご主人の我ままなどに苦労しながらも、家族や隣人のために自分を捧げ、お互いに助け合って困難を乗り越えてきた外国人の若いお母さんたちの姿を通して、また多くの人々がお互いに協力して困難を克服してきたその姿を通して、人間が生き方の原点に戻るよう、この日本から全世界に強いメッセージが発信されることに神様の意図があったのではないかと。そのように考えさせられた研修会でした。

青少年の活動

第四十八回

中国ブロック

カトリック高校生大会

第四十八回中国ブロックカトリック高校生大会（中ブロ）が三月二十四日（月）〜二十七日（木）、国立山口徳地少年自然の家で行われました。参加者は、高校

生四十八名、前田司教様をはじめ、リーダー二十六名でした。

テーマは「神は愛である（会・愛・相 I love you because :）」で、各日に小さなテーマを設定し、それについて分かち合いを行いました。参加した高校生は、分かち合いを通して自分自身を見つめ直し、今回出会った相手を大切にし、神さまの存

在を実感できたと思いま

す。まさしく、ヨハネの手紙の四章を体験できたのではないのでしょうか。また、今回は福島の桜の聖母学院から三名の生徒と一名のシスターも参加し、福島の現状や3・11の当日の状況などを聞き、それについての分かち合いも行いました。プログラムは、その他にも野外炊飯やレクリエーションなど、楽しい企画も

用意されていました。

中ブロは、ただ単に楽しい集まりではなく、様々なことを考えられる場でもあり、何よりも高校生同士の高い交流が目的にあります。最後の握手会では、参加者全員が一人一人と握手を交わし、泣きながら別れを惜しむ姿が多くみられました。その涙から、今回の中ブロの充実感を感じられます。中ブロに参加した高



釜山教区から派遣されました

岡山教会
朴孝鎮 神父

韓国（みりやん）の密陽（みりやん）です。

Q. 趣味は何ですか？

車やバイクの運転、釣り、スキー、弓、ギター、読書、登山、ウインドシヨッピング、絵を描くことなど。

Q. 好きな日本食はありますか？

全部美味しいですが、ラーメンやお寿司、岡山名物のままかりが美味しかったです。

Q. 日本で好きな場所はありますか？

Q. 好きな言葉を教えてください。

Q. 教区の皆さんにメッセージをお願いします。

岡山の湯原温泉です。他にも岡山だと日生や牛窓も。

Q. 神父様になろうと思っ

たきっかけは？
特別なきっかけはないんですが、子どもの時から家庭での期待がありました。そして自分が素直な心で

神様と向き合った時、司祭への呼びかけを断ることはできませんでした。神様から愛をいただいて、神様が愛する皆さんのために奉仕するようと呼びかけられました。

Q. 好きな言葉を教えてください。

「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。（ヨハネ十五章九節）」
これは私の叙階カードの言葉でもあります。

Q. 教区の皆さんにメッセージをお願いします。
私たちが共にいらつしやる神様が、私たちに喜びと平和を与えてくださいました。私たちは福音を実践し、共に実践してください。神に強い信頼を置かなければなりません。神様が私たちの喜びになつてください。ように、私たちも神様の喜びになりましょう。



<80>



昨年のトアン神父様に続き、今年、猪口神父様が叙階された。神様の計らいに感謝するとともに新司祭の活躍を願いたい。



猪口新司祭、中ブロでのミサの様子

(リーダー 西川基之)

校三年生の一人は、「もつと早くに中ブロに来ればよかった。二回しか参加できなかったことを後悔している。」と語ってくれました。周りに中学三年生〜高校三年生が居ましたら、是非声を掛けてみてください。来年は三月二十五日（水）〜二十八日（土）、広島で行われる予定です。たくさん参加をお待ちしています。